



## ソフトボール

### 令和6年度を振り返って

ソフトボール専門委員長

福岡県立香椎高等学校 岡崎 欣一郎

初めに、県高体連や専門委員を筆頭にソフトボールにかかわる皆様のご協力のおかげで、令和6年度の大会をすべて無事に終えることができたことに感謝を述べさせていただきます。ありがとうございます。

令和6年度の運営において最大のものは九州総体でした。その準備には令和5年度から携わってきましたが、私自身、専門委員長として取り組む初めての九州大会でしたので、関係各所と連携をとりながら手探りで進めていきました。順風満帆に進んでいったとは言い難く、様々な逆風が吹いてきました。物価高騰のあおりを受けて、もろもろの物品や宿泊代、食事代などの値上げ。コロナあけの海外からの訪日客増加に伴う観光客過多による宿泊施設の確保困難。今年度から参加申し込み方法の電子化や振り込み手続き面での変更。解決しなければならない課題が次から次へと出てきました。関係各所と綿密に調整をしながら一つ一つを解決していくことができ、何とか開催までこぎつけることができました。

事前にしっかりと準備をすることができたおかげで、大会中は大きな問題は起こりませんでした。また、梅雨のさなかにもかかわらず天候にも恵まれ、滞りなく大会日程を終えることができました。ただ、天候には恵まれたと書きましたが、近年の猛暑が今年も続き、高い気温となったため、その対策や対処に追われました。例えば、7イニングの中で、4イニング終了時点もしくは1イニングが30分を超えた場合などは給水タイムとして休憩時間を設けました。このように様々な点で配慮していったのですが、それでも残念ながら熱中症となった方が数名出てしまいました。休憩するだけで回復し、大事はなかったのが安心しましたが、大会運営面での課題となりました。

運営として、いくつかの課題を感じはしましたが、参加された方々からは、いい大会だったと評価をいただくこともできました。本当に皆様のご協力とご尽力のおかげだと、感謝の念に尽きません。次年度は沖縄で開催されるので、今回の反省点などを含め、しっかりと引き継いでいきたいと思えます。

今年度の総体予選、新人大会について振り返ると、参

加申し込みを九州大会にならない、電子化するという取り組みを行いました。新たな取り組みでしたが、不都合などなかったため、今後も続けていきたいと考えます。

大きな課題はチーム数の減少です。10年前には40チーム以上が参加できていたのですが、選手の減少にとともに、チームが休部や廃部、もしくは合同チームが増えるなどし、近年は30チーム程度になってきました。今後はさらに減少することが推測されます。そのため、これまで長年行ってきた大会の形式も変更が迫られています。

今年度はかろうじてこれまでの形式を保つことができましたが、次年度からは形式の変更が濃厚です。今後はチーム数を増やし大会形式を維持していくためにも、中学校から高校でも継続するプレーヤーを増やすとともに、競技人口を増やす努力をしていかなければならないと考えています。高校のカテゴリーだけでは難しい問題ですので、協会や中体連と連携を取りながら、競技の魅力高め、伝えていきたいです。

矛盾するようですが、チーム数は減少したものの、福岡県は他県に比べると多くのチームが存続しています。そのため、大会自体は問題なく開催することができ、チーム同士の競争もしっかりとできています。魅力ある競技となるためには、一方的な勝負ばかりで、あるチームだけが強いという一強の状況よりも、勝ち負けがどちらに転ぶか分からない試合ばかりで、多くのチームにチャンスがあるという状況が必要だと考えます。福岡県のソフトボールはまさにそういう状況にあります。今後もそういう状況であり続けること願っています。

最後に、今年度から新たにソフトボール専門部専門委員長となり、よく分からないことが多く、不手際から関係各所にご迷惑をお掛けしたこともありました。その都度、福岡県高体連理事長や事務局には、懇切丁寧にご指導いただくなど、とても助けていただきました。おかげさまで無事に今年度を乗り越えることができました。本当にありがとうございます。今後もソフトボール競技が発展していくように、多少なりとも尽力していきたいと思えます。

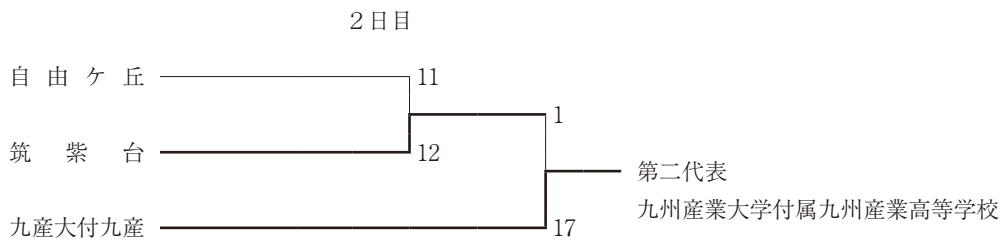
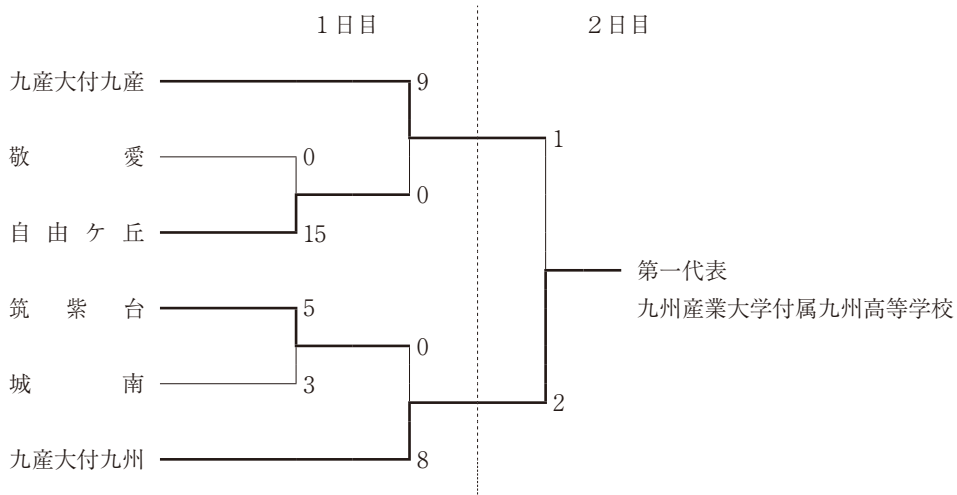
大会名 令和6年度福岡県高等学校総合体育大会ソフトボール選手権大会〔男子〕

(兼全国高校総体兼全九州ソフトボール大会県予選)

〔男子〕期 日 令和6年6月8日(土)・9日(日)(予備日6月15日(土))

会 場 雁の巣レクリエーションセンター

成 績 1位 九州産業大学付属九州高等学校 2位 九州産業大学付属九州産業高等学校  
3位 筑紫台高等学校、自由ヶ丘高等学校



大会名 令和6年度福岡県高等学校総合体育大会ソフトボール選手権大会〔女子〕

(兼全国高校総体兼全九州ソフトボール大会県予選)

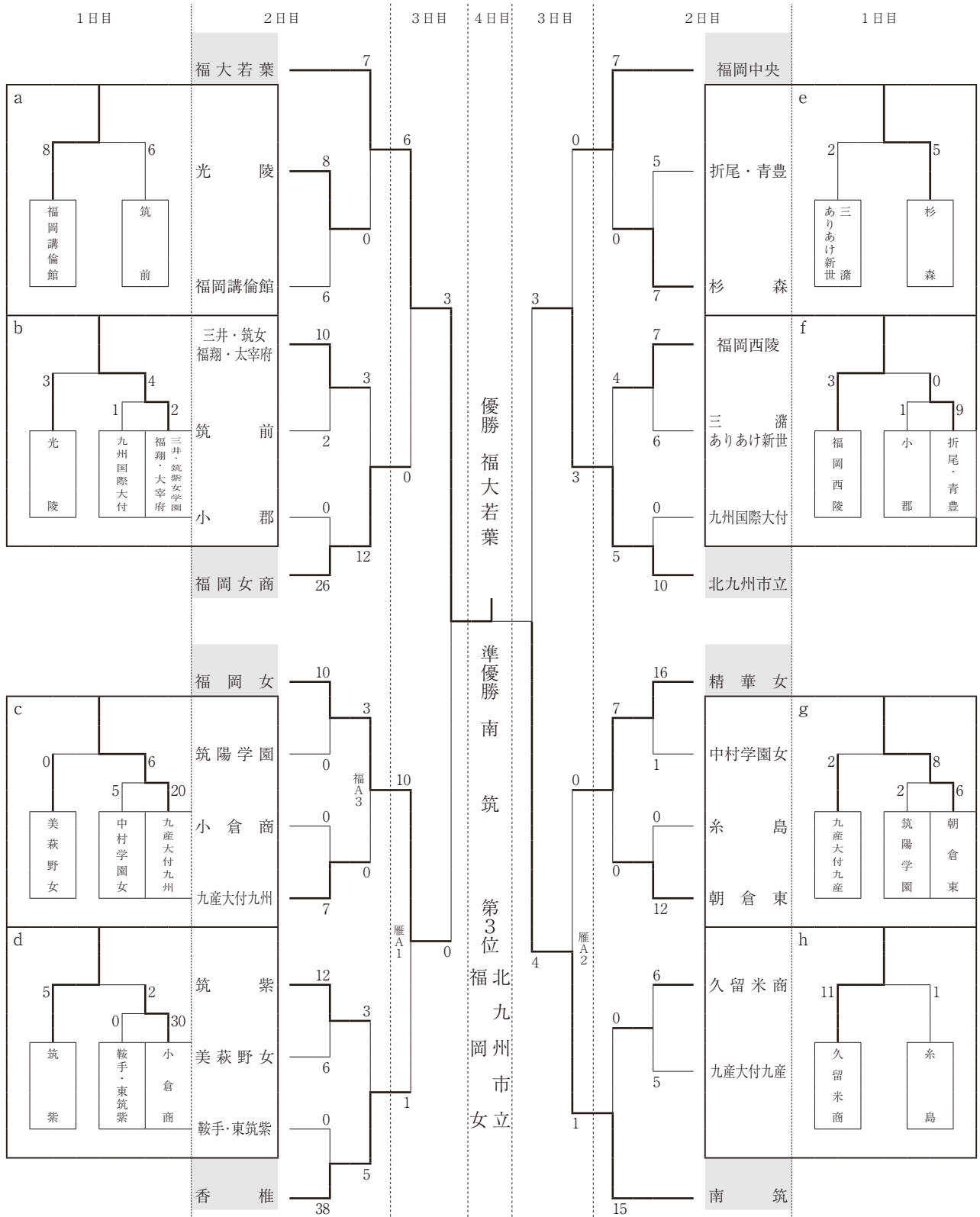
〔女子〕期 日 令和6年5月19日(日)・25日(土)・6月1日(土)・2日(日)

(予備日5月26日(日)・6月8日(土)・9日(日))

会 場 雁の巣レクリエーションセンター、今津運動公園、福岡女子高等学校

成 績 1位 福岡大学附属若葉高等学校 2位 久留米市立南筑高等学校

3位 福岡市立福岡女子高等学校、北九州市立高等学校



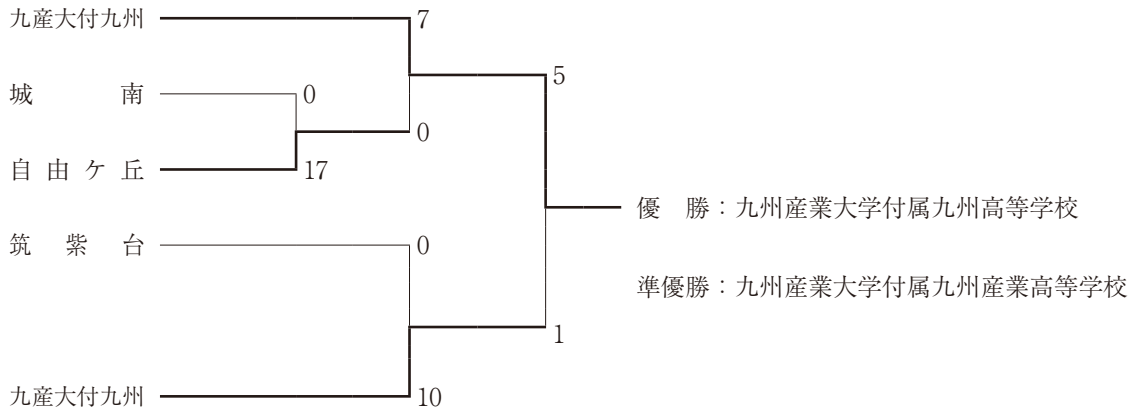
大会名 令和6年度福岡県高等学校ソフトボール新人大会 [男子]

(兼第19回全九州高等学校ソフトボール秋季大会福岡県大会)

〈男子〉期 日 令和6年9月14日(土) (予備日9月15日(日))

会 場 大牟田港緑地運動公園多目的広場

成 績 1位 九州産業大学付属九州高等学校 2位 九州産業大学付属九州産業高等学校  
3位 自由ヶ丘高等学校、筑紫台高等学校



大会名 令和6年度福岡県高等学校ソフトボール新人大会

(兼 第19回全九州高等学校ソフトボール秋季大会福岡県大会)

(女子) 期日 令和6年9月8日(日)・14日(土)(予備日9月15日(日))

会場 大牟田港緑地運動公園多目的広場 大牟田諏訪公園運動広場

大川市筑後川総合運動公園

成績 1位 北九州市立高等学校 2位 福岡中央高等学校

3位 福岡大学附属若葉高等学校、香椎高等学校

